

損失額計算準備票の記載例

被災状況表

※分かる範囲で記入してください。

住宅 ※1	区分	平屋・二階建・その他 ()	取得年月	昭(平)・令26年4月
	取得方法	新築・中古・その他・借家	取得金額(土地除く)	20,500,000円
	構造	木造・鉄骨鉄筋コンクリート・鉄筋コンクリート・鉄骨造	床面積	122.33㎡
	中古で取得した場合には新築時からの経過年数			年 月
	所有割合	本人(2/3)、花子(1/3)、_____(/)		
	被害状況	全壊・半壊・一部破損 浸水(浸水無し・床下・床上50cm未満・1m未満・1.5m未満・1.5m以上) 土砂の流入(有・無) 24時間以上の長期浸水(有・無)		
保険金などで補てんされる金額		有(り) (5,000,000円) ・ 無し		

家財 ※2	被害の有無	浸水による家財の被害が 有(り) ・ 無し			
	取得時期・価格	被害を受けた家財の個別計算が 可能 ・ 不(可)能			
	世帯主	年齢	53歳(令和5年7月14日・9月19日現在)	世帯区分	夫婦 独身・離婚・死別
		生計を一にする親族	父・母(子)18歳以上 1人、18歳未満 人(令和5年7月14日・9月19日現在) その他 ()		
	家族構成 親族による 損害額按分	氏名	生年月日	家財の所有割合	
		国税 太郎	昭(平)・令 45・4・10	40.5 %	
		国税 花子	昭(平)・令 47・12・25	35.5 %	
国税 一郎		昭(平)・令 7・10・10	24.0 %		
		昭(平)・令 . .	%		
生計を一にする親族に所得金額が48万円以上の方が複数いる場合は、令和4年分の所得金額等合理的な割合により、家財の損害額に係る按分計算が必要です。 親族合計で100%になるよう端数の調整をお願いします。					
保険金などで補てんされる金額		有(り) (円) ・ 無(し)			

車両 ※3	所有者	本人()	本人(花子)	本人()	本人()
	区分	普通・軽	普通・軽	普通・軽	普通・軽
	取得年月	平(令)28年10月	平(令)5年4月	平(令)年 月	平(令)年 月
	取得価額	2,500,000円	800,000円	円	円
	中古の場合経過年数	年 月	2年3月	年 月	年 月
	被害割合	100%	100%	%	%
	補てんされる金額	0円	0円	円	円

※1 建物の取得金額が分からない場合(土地と一括購入した場合を含む)には、建物の構造と取得時期、面積のみご記入ください(地域別・構造別の標準的な工事費の金額を用いて計算します。)

※2 被害を受けた家財の個別計算が不可能な場合には、家族構成別家財評価額を基に、損害割合を乗じて計算します(例えば、世帯主が49歳の夫婦であれば1,100万円、18歳以上の大人の場合は1名につき130万円、18歳未満の子供の場合に1名につき80万円を加算します。)

なお、生計を一にする親族に年間48万円以上の方が複数いる場合には、家財の損失額を令和4年分所得金額(見込み額)等合理的な割合により按分しますので、按分割合の合計が100%になるよう端数調整してください。

※3 被災直前の車両の時価について、耐用年数に応じた償却率を用いて損害額を計算します。
また、年数経過により償却済みの場合には、取得価格の5%が被災直前の時価となります。
水没等により廃車した場合(修理して再利用できない場合)の被害割合は、100%とご記入ください。